



翼



「 読書の秋 思いがけない一行に出会いたい 」 校長 井上 雅子

今年も10月27日(火)から11月9日(月)の間が読書週間になります。戦後間もない1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷跡が残る中「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意のもと出版社、書店、公共図書館、そして新聞・放送のマスコミも加わって第一回読書週間が始まりました。今年読書週間の標語は「ラストページまで駆け抜けて」です。初回の標語は「楽しく読んで明るく生きよう」、ひばりが丘中学校が開校した1960年は「よりよい社会 一人一人の読書から」と時代を感じさせるものになっています。私は通勤での読書が大好きですが、スマホ人気に押されて車内読書派は少なくなり、2010年の標語「気が付けば もう降りる駅」は10年間で今昔の感があります。昨年の「学校読書調査」では、1か月に読んだ本は小学生が平均11.3冊、中学生が平均4.7冊、高校生が平均1.4冊で、少しずつですが増加しているそうです。また全く読まない「不読者」は小学生が6.8%、中学生が12.3%、高校生が55.3%でこれも低下しているそうです。しかし大学生の約半数は1日の読書時間がゼロだといえます。

先日、読書の大切さについて掲載された新聞記事に、「You are what you eat」「あなたという人間はあなたが食べてきたもの」という意味の慣用表現のeatをreadに置き換えて「あなたという人間はあなたが読んできたもの」とありました。若い時に読むものすべてが栄養となり、その人をつくっていくのだという意味です。若い時間は短いです。できるだけたくさん本から吸収して中学生の心と日々の生活を豊かにしてほしいと願っています。1学期の3年生の国語のスピーチ「紹介したい本」では、感動した言葉や場面から、元気をもらったり、心のよりどころにしたり、また人生の目標にしたり素晴らしい読書経験を話していました。本校では、巡り合う1冊の中の思いがけない1行に、既に出会っている生徒がたくさんいるのではないかと嬉しく思っています。本校の始業は朝読書で始まり、落ち着いた状況で授業が開始されています。今後も豊かな心を育てることができるよう読書を進める指導を継続したいと思います。

読書週間に合わせて「大貸出祭り」を5日まで行いました。学校司書が学校行事などに合わせて本をレイアウトし、先生たちのおすすめの本なども掲示しています。学校図書室も活用しましょう。秋の夜長に「あと1ページ」と夢中になる時間ができることを願っています。

■生徒会認証式

10月26日(月)、生徒朝礼で、新生徒会役員と後期委員に認証書を授与しました。生徒会役員には校長先生から、各委員長には生徒会長から認証書を渡しました。立派な旧生徒会役員の退任の挨拶と新会長の挨拶で、後期の生徒会、委員会活動を責任もって行うことを全校生徒で確認しました。生徒全員で一人一人の役割を果たし、後期もよりよい中学校生活を作っていきます。



■第60回運動会「学級対抗全員リレー」10月28日(水)

1学期から延期していた運動会を縮小した形で行いました。体育行事委員会が、スローガン「跳躍 ひばりのバトンは落とさない」を掲げ、準備をしました。特に学年練習では、体育行事委員が中心となって主体的に



動き、集中して練習できるよう委員会の中で話し合いを重ねました。また学級では各クラスのスローガンづくりの学級討議、全員リレーの走順の作戦会議といつもの運動会と変わらない準備をして臨みました。実行委員長から「これまでの歴史と伝統と、そして常に『自ら学び主体的に行動する』ひばりが丘中学校の生徒の良さを来年の新しいスタートに確実に引き継いでいく運動会にしましょう」と話がありました。縮小された運動会でしたが、今年も生徒全員がよりよい行事にしようという意欲と責任感を感じさせる素晴らしい運動会になりました。

■1年生校外学習 府中の郷土の森

10月30日(金)1年生の校外学習を行いました。実行委員(学級委員)による準備、学級での事前準備などを重ね、当日は班行動を中心にオリエンテーリング、クイズなどに協力して取り組みました。多摩地区の江戸時代から昭和初期までの建物や文化の歴史、様々な木々や植物、そしてプラネタリウムなど盛りだくさんの内容について、時間制限や感染症対策に気を遣いながら、班の友だちと知恵を出し合い協力する楽しい1日でした。スローガン「全力、協力、学ぶ努力」の3つが達成できた立派な1年生でした。



スローガン「全力、協力、学ぶ

■おやじ倶楽部による第一回 職業講話(1年生・2年生)

11月7日(土)学校公開日に第一回の1・2年生対象のおやじ倶楽部による職業講話を行いました。おやじ倶楽部は本校の有志の保護者やOBが、運動会などの行事のお手伝いや、豊かな仕事のご経験を生徒にお話ししていただく活動を毎年行っています。3月には3年生を対象に、第二回の職業講話を予定しています。毎年、お仕事のやりがいを話していただき、これから職業や仕事を選択していく中学生に将来の夢や希望を抱かせていただきます。また、おやじ倶楽部の皆さまは、生徒からの感想の手紙に励まされているとおっしゃっています。



1年A組	講師：小林大介氏「通信業とサービス企画の仕事について」
1年B組	講師：渡邊直樹氏「介護サービスの仕事についてのお話と車椅子体験」
1年C組	講師：湊谷里沙氏「バスガイドの仕事についてのお話とバスガイドの体験」 卒業生である湊谷優音氏 職業選びの経験のお話
1年D組	講師：喜多見浩次氏「細胞微生物の研究から遺伝子研究と人間の積極的な可能性」
2年生全クラス	講師：北村幹男氏「仕事が社会を創る」

■本校生徒の活躍

東京都薬物乱用防止推進 西東京地区協議会会長賞

「薬物乱用しない決意と断る勇氣 自分自身の未来のために」

(薬物乱用防止の標語に2年生が応募しました。)